

分野	品格あるくまもと	戦略	九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展
		重点的に取り組む施策	新幹線元年戦略の推進

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	新幹線くまもと創り (元年戦略)推進事業	115,700 105,213	新幹線全線開業を契機に県民総参加で地域をつくるために以下の取組みを進める。 ・「くまもとの『食』と『文化』でおもてなし」をテーマに、くまもとの魅力の発信と来訪者へのおもてなしを行う「新幹線元年事業」を県民総参加で展開する。 ・県民の気運醸成を図るため、身の周りにある驚くべき魅力を掘り起こし、創出する「くまもとサプライズ」を県民運動として展開する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・くまもとサプライズアワードの実施による、民間の地域づくりの取組みの掘り起こし・支援を行った。 ・新幹線元年キャラバンの実施、くまもとサプライズロゴ、キャラクターの使用承認による県民の気運醸成を図った。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・新幹線元年事業の効果が、一過性・部分的(新幹線駅周辺等)とならないよう、県内各地域において、市民力(民間の知恵と力)を活用した事業展開が必要。
	地域振興課(新幹線元年戦略推進室)	113,683		
2	KANSAI戦略推進事業	82,308 81,211	九州新幹線の全線開業効果の最大化のため、誘客等の交流拡大をめざし、県が取り組む各種事業が効果的に推進できるよう、熊本の魅力や物産などの情報を良いイメージでKANSAI地域に集中的に発信する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・大阪を中心に、球場やJR各駅などに「くまモン」の看板・ポスター掲出や、観光地等でのくまモンの神出鬼没、吉本新喜劇出演を行い、ブログやTwitterも活用しながら、「くまモン」の認知度を高めた。 ・近畿ブロック知事会や広島県、岡山県でも各知事を訪問し、新幹線開業後の来熊等についてトップセールスを行った。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・「くまモン」の認知度をくまもとの認知度につなげていくことと併せ、一過性でなく継続的な認知度向上のための取組みが必要。
	くまもとブランド推進課	80,000		
3	お土産等販路拡大支援事業 (H22は九州新幹線さくらお土産開発事業のうち新幹線元年戦略関連事業)	8,959 7,706	県内中小企業の大都市圏における県産品の販路拡大を支援する。 (平成23年度事業) ・お土産等販路拡大支援事業	平成22年度の取組みの実績、成果 ・九州新幹線さくらお土産開発事業 熊本市と連携して、21商品を選定。県物産館を始め、いくつかの商品について販売開始につながった。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・お土産等の開発に留まらず、販路拡大の継続的な支援が必要であり、引き続き取り組んでいく。
	くまもとブランド推進課	3,421		
4	首都圏広報強化事業	100,000 94,052	「くまもとの夢」の実現のため、九州新幹線全線開業や政令指定都市の実現など、大きく動き出す「くまもと」の認知度向上に向け、首都圏をメインターゲットとした広報展開を強化する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・首都圏でのメディア露出倍増を目指した結果、東京事務所の取材対応件数実績が平成21年度107件から平成22年度の157件と増加した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・トップセールスを強化するため、知事の人脈をインフルエンサー(世論形成に影響力のある人)として活用し、熊本の魅力や特色ある取組みを新聞紙面などで伝える媒体広報を実施する。
	広報課	100,000		
5	くまもとの夢首都圏戦略事業	3,536 3,536	「くまもとの夢」の実現に向け、九州新幹線全線開業や政令指定都市の実現など、大きく動き出す「熊本」の認知度向上に向け、首都圏をメインターゲットとして広報展開を強化する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・プレスリリース 45件、掲載成果確認 73件 ・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等各種媒体の取材対応 124件 ・全国の7割を占める首都圏のメディアに向けて、熊本の様々な素材を売り込み、露出度の拡大を図った。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・首都圏のニーズをキャッチし、一早く初動対応を行うことができた。H23年度は首都圏広報強化事業の中で、こうしたニーズを素早くキャッチし、首都圏のキーマンとも連携しながら、首都圏で熊本の魅力が発信される機会の拡大を図っていく必要がある。
	東京事務所	(首都圏広報強化事業に統合)		
6	九州新幹線建設事業	4,787,000 3,377,157	鉄道・運輸機構が建設する九州新幹線に対し、法の規定により定められた負担割合で建設費を負担する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・九州新幹線鹿児島ルートの中全線開業 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・新幹線は開業後の2箇年で新幹線環境対策が行なわれるため、今回開業した博多・八代区間の沿線の環境保全に対し関係機関(鉄道・運輸機構及び沿線各市町)との連絡調整を行なう。
	都市計画課	892,710		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
7	新幹線新駅周辺道路整備事業	1,014,000	新幹線全線開業効果の最大化を図るために、玉名・八代の新幹線新駅へのアクセス関連道路の整備(用地買収、埋蔵文化財調査、道路改良工事等)を実施する。 (一部区間の実施主体は、国土交通省)	平成22年度の取組みの実績、成果 ・新玉名駅周辺では国道208号玉名バイパスの4.2km、県の事業である玉名山鹿線(元玉名工区)1.2km、玉名八女線(玉名工区)0.5kmを供用し、新八代駅周辺では県の事業である新八代停車場線において約1.0km(一部を除く)を供用したことにより交通アクセスが改善された。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・新駅周辺道路整備は全線開業効果の最大化に寄与するため、整備を引き続き推進することが重要である。そのため、計画的な用地取得、工事工程の管理に取り組む。
	道路整備課	1,609,086 885,000		
8	九州新幹線建設促進事業	3,352	新幹線建設事業費の確保及び利便性の高い運行形態確保のための関係機関等への要望活動の実施 九州新幹線全線開業に向けた広報、啓発事業の実施	平成22年度の取組みの実績、成果 ・所要の建設事業費が確保され九州新幹線鹿児島ルートが23年3月に予定どおり全線開業した。新幹線は熊本駅で特急と比べて40本増加等地域の要望に配慮したダイヤ、運賃となった。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性
	交通政策課	3,269		
9	地方公共交通対策事業	383,096	県内の生活交通の維持を図るため、公共交通事業者や生活交通確保に向けた取組みを実施。 ・地方バス等路線維持に対する補助(国庫協調)、交付金(単県) ・地方バス等の活性化事業に対する交付金(単県)	平成22年度の取組みの実績、成果 ・バス路線運行費補助(国庫協調)4事業者46系統、バス路線等の維持に対して補助を行っている市町村(45市町村)及び活性化事業を行っている市町村(2市村)に対して補助及び交付金を実施。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・県内の路線バスの利用者が減少の一途をたどる中、デマンド型タクシー等のコミュニティ交通の導入の支援を行うほか、国の補助制度の変更に伴う新たな支援制度の制度設計を行っていく。
	交通政策課	382,466 353,713		
10	天草空港運航支援対策事業	241,439	天草エアラインの安全かつ安定した運航を図るため、天草エアラインに対し必要な整備等に対する支援を行うとともに、天草空港利用促進協議会に対し負担金の支出を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・天草エアラインが使用する機材の整備に係る経費について、地元市町(天草市、上天草市、苓北町)との協調補助を実施。また、天草空港利用促進協議会(事務局:天草市)等と連携し、利用促進に取り組んだ。その結果、安全かつ安定的な運航が維持された。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・天草地域の人口減少等により天草エアラインの旅客収入が頭打ちとなる一方、機材の整備費等の経費は増加傾向にある。 ・天草エアラインの安全運航を維持するため、機材整備に係る経費に対する補助を継続しながら、経営改善に向けた方策を検討する。
	交通政策課	241,391 167,012		